

第5節 規範意識形成要因

この節では、規範意識を形成する要因として考えられる親子関係や親のしつけ、また、規範意識形成を阻害する要因についての調査結果を報告する。

1 親子関係

ここでは、父親（母親）が小学生の頃してくれたことを尋ねた結果について述べる。回答は、以下の16の事柄について、当てはまるものすべてを選択するよう求めた。

- 1 食事の世話や洗濯など生活の世話をする【生活の世話】
- 2 勉強・スポーツ・趣味のことを教える【教える】
- 3 困ったことがあった時、相談相手になる【相談相手】
- 4 一緒にゲームをしたり室内で遊んだりする【一緒に遊ぶ】
- 5 本・おもちゃ・洋服など色々な物を買ってくれる【物を買う】
- 6 お小遣いをくれる【小遣い】
- 7 外で食事をしたり買い物に行ったりする【一緒に買い物】
- 8 運動会など学校の行事や習い事の発表会にくる【学校行事】
- 9 遊びに連れていったり、一緒に旅行に行ったりする【一緒に旅行】
- 10 お母さん（お父さん）に叱られた時かばってくれる【かばう】
- 11 誕生日やクリスマスなどのお祝いをする【お祝い】
- 12 何かと気にかけてくれる【気にかける】
- 13 悪いことをした時に叱る【叱る】
- 14 その他
- 15 何かしてくれたことはない
- 16 お父さん(お母さん)はいない

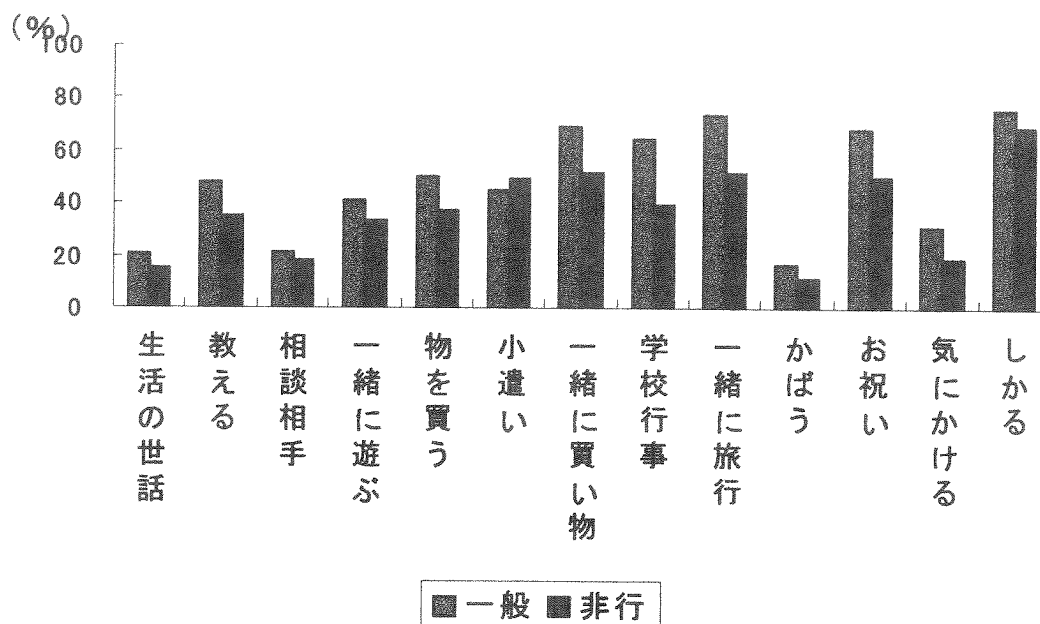
(1) 小学生の頃父親がしてくれたこと

結果は、図4-1に示すとおりである。

これをみると、「お小遣いをくれる」（一般群；44.7％・非行群；49.2％）以外はすべて一般群の方が非行群より「してくれた」と答えた者の割合が高い。特に、「外で食事をしたり買い物に行ったりする」（一般群；69.0％・非行群；51.7％）「運動会など学校の行事や習い事の発表会にくる」（一般群；64.4％・非行群；39.2％）「遊びに連れていったり、一緒に旅行に行ったりする」（一般群；73.3％・非行群；51.6％）「誕生日やクリスマスなどのお祝いをする」（一般群；68.4％・非行群；50.3％）が、非行群より15ポイント以上高い

割合を示している。

図4-1 父親がしてくれたこと



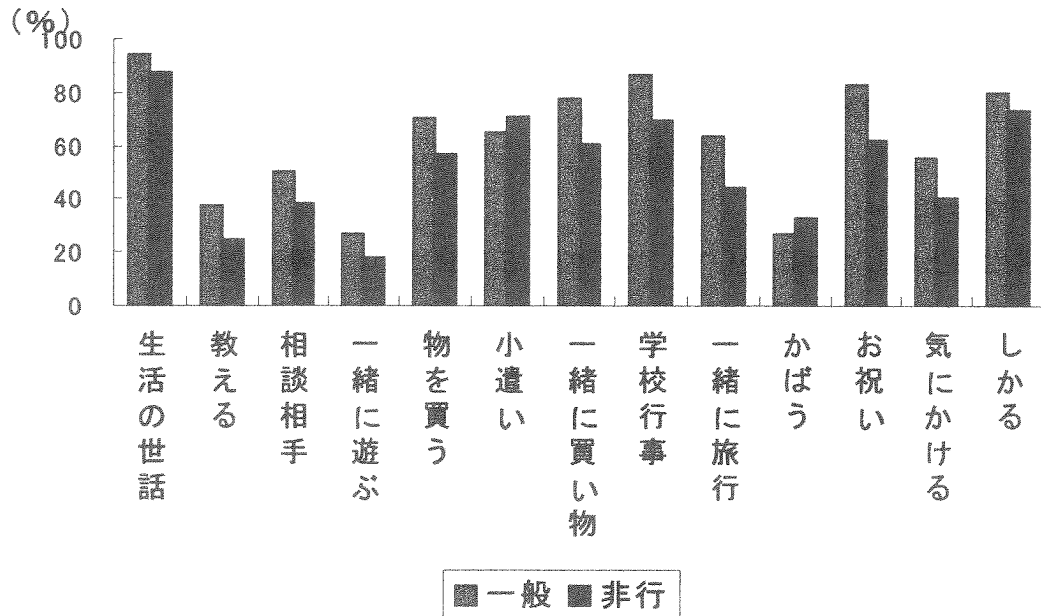
(2) 小学生の頃母親がしてくれたこと

結果は、図4-2に示すとおりである。

全体的にみると、「父親がしてくれたこと」よりも「母親がしてくれたこと」の方が回答する者の割合が高い。

一般群と非行群を比較すると、「お小遣いをくれる」(一般群；64.6%；非行群；70.6%)「お父さんに叱られた時かばう」(一般群；26.7%・非行群；32.7%)を除くとすべて一般群の方が高い割合を示している。特に、「外で食事をしたり買い物に行ったりする」(一般群；77.7%・非行群；60.6%)「運動会など学校の行事や習い事の発表会に来る」(一般群；86.6%・非行群；69.5%)「遊びに連れていったり、一緒に旅行に行ったりする」(一般群；63.7%・非行群；44.2%)「誕生日やクリスマスなどのお祝いをする」(一般群；83.0%・非行群；61.7%)が、非行群より15ポイント以上高い割合を示している。

図4-2 母親がしてくれたこと



ここでは、親子の触れ合いが規範意識形成要因の1つであるという仮説を立てた。つまり、親子の触れ合いを通じて少年は「自尊感情」や「家庭への所属感」などを培い、それが、少年に規範意識を形成させていくと考えたのである。

父親(母親)から小学生の頃してもらったこと 13 項目に対して、一般群と非行群を比較した。その結果、一般群の方が非行群より「してもらった」と回答した者の割合の高い項目が大部分であった。特に、「外で食事をしたり買い物に行ったりする」「運動会など学校の行事や習い事の発表会にくる」「遊びに連れていったり、一緒に旅行に行ったりする」「誕生日やクリスマスなどのお祝いをする」の 4 項目では、顕著に一般群の方が「してもらった」と回答した者の割合が高く、非行群の少年より一般群の少年の方が親子の触れ合いを多く経験していることを示している。

2 家庭のしつけ

ここでは、少年の規範意識を形成する要因の1つとして家庭のしつけを考え、日常生活上のしつけ・道徳上のしつけについて、親からどのくらい言われているのかを尋ねた結果を述べる。

回答は、以下の中から1つを選択するよう求めた。

- 1 いつも言われている
- 2 時々言われている
- 3 あまり言われない
- 4 全く言われない

(1) 日常生活上のしつけ

日常生活上のしつけについて、以下の12項目について尋ねた。

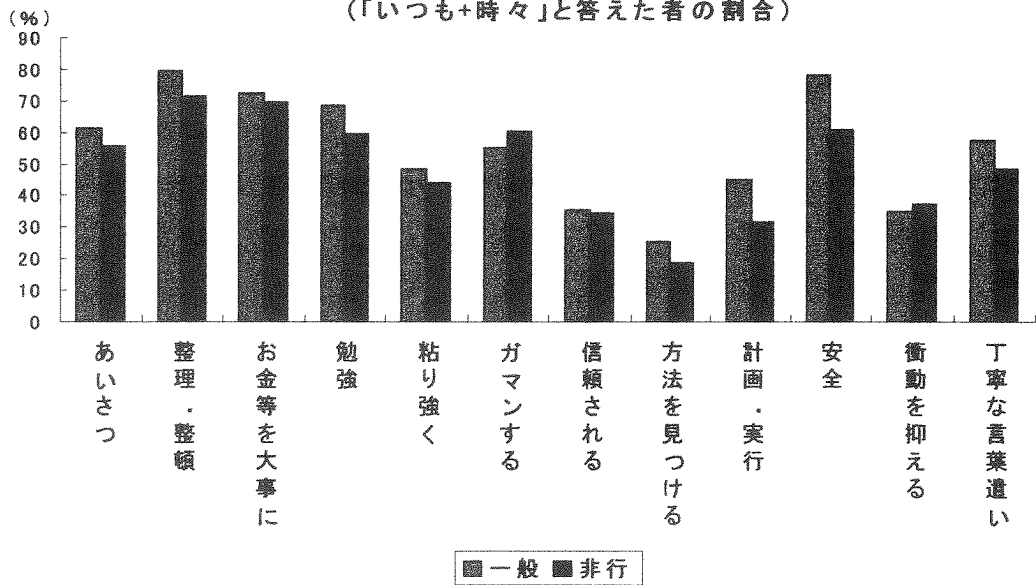
- ア 日常的なあいさつ【あいさつ】
- イ 身の回りの整理・整頓【整理・整頓】
- ウ お金や物を大事にする【お金等を大事に】
- エ 勉強しなさい【勉強】
- オ 粘り強く何かをやり通す【粘り強く】
- カ ガマンする【ガマンする】
- キ 人から信頼される【信頼される】
- ク 進んで新しい方法を見つける【方法を見つける】
- ケ 自分で物事を計画し実行する【計画・実行】
- コ 安全に気をつける【安全】
- サ 一時的な衝動を抑える【衝動を抑える】
- シ 丁寧な言葉遣い【丁寧な言葉遣い】

「いつも言われている」「時々言われている」のどちらかに回答した者（以下「言われている」と記述する）の割合を合計した結果を図4-3に示した。

一般群・非行群ともに半数以上の者が親から言われている項目は、「あいさつ」（一般群；61.4%・非行群；55.3%）「整理・整頓」（一般群；79.3%・非行群；71.1%）「お金等を大事に」（一般群；72.2%・非行群；69.5%）「勉強」（一般群；68.4%・非行群；59.5%）「ガマンする」（一般群；55.2%・非行群；60.2%）「安全に気をつける」（一般群；78.2%・非行群；60.8%）であった。

一般群と非行群を比較すると、全体的には一般群の方が「言われている」と回答した者の割合が非行群より高い項目が多い。「安全に気をつける」「計画・実行」に対しては10ポイント以上一般群の方が高かった。また、「ガマンする」や「衝動を抑える」に対しては、非行群の方が若干ではあるが割合が高くなっているが、これは、非行群の少年の日頃の生活状態に対してその親が注意することを喚起されているためと推測できる。

図4-3 日常生活について親から言われること
 (「いつも+時々」と答えた者の割合)



(2) 道徳上のしつけ

道徳上のしつけについて、以下の12項目について尋ねた。

- ア 目上の人を尊敬する【目上の人を尊敬】
- イ 相手の立場を理解する【相手を理解】
- ウ 人に迷惑をかけない【迷惑をかけない】
- エ 友達と仲良くし、助け合う【友達と仲良く】
- オ 約束や決まりを守る【約束等を守る】
- カ 好き嫌いや利害にとらわれず公平にふるまう【公平にふるまう】
- キ 人に親切にする【親切】
- ク うそを言わない【うそを言わない】
- ケ 自然を大切にする【自然を大切に】
- コ 自分と異なる意見でも尊重する【他の意見を尊重】
- サ 道路や公園を汚さないように気をつける【道路等を汚さない】
- シ 弱者をいたわる【弱者をいたわる】

結果は、図4-4のとおりである。

全体的にみると、日常生活上について「言われている」と回答した者の割合より低い。道徳上のことについて、「言われている」と回答した者が一般群非行群ともに半数を超えた項目は、「人に迷惑をかけない」(一般群；66.2%・非行群；79.7%)「決まりや約束を守る」(一般群；66.5%・非行群；72.0%)「人